

団体名 石川災害医療研修 (IDMeW)

部門 一般

テーマ 基本方針5_都市づくり(5) 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践

企画タイトル

金沢型地域BCP策定事業

～他職種連携で「動ける」計画を形にする～



1. 団体について

団体の活動概要

【設立】2024年11月1日

【活動のベース】能登半島地震における災害支援活動の経験と反省

【対象】小規模な医療機関や福祉施設で働く他職種、その施設のある地域

【目的】災害時の受援力・支援力向上 地域との連携

【昨年度活動実績】

防災イベント 2回開催(金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業)

災害医療に関する研修会 5回開催(石川県高度・専門医療人材養成支援事業)

構成員 全員が災害支援を経験

医師:外来や訪問診療で地域に根ざした医療を提供

看護師:訪問看護師として地域と密接に連携

薬剤師:昨年は災害薬事研修開催に奔走

ケアマネジャー:1.5次避難所開設から閉所まで要支援者支援に従事

事務:新潟大学災害医療ロジスティクス専門家養成コース、その他研修での学びを団体へ還元

2～8%

82%

約67,000

2. 現状の課題・背景

木造建物比率が高い
旧耐震基準の建物い
浅野川流域の液状化リスクが高い
医療機関や福祉施設単独のBCPでは
地域医療・福祉がSTOP
金沢市の被害想定をBCPに活かしてきれていない



公助が届くまでに
空白期間が発生！

共助を強化しよう！

3. 企画の概要

・企画のねらい・コンセプト

ひとつの組織だけでは弱い→組織どうしが連携して助け合う

今年度：医療機関・福祉施設と金沢市の連携の方法を探る

来年度以降：地域との連携、企業と連携

・実施方法

定例勉強会、講師を招いてのブラッシュアップ、学びを地域住民に公開

講師（予定）：山岸 暁美氏

コミュニティヘルス研究機構 理事長・機構長 / 慶應義塾大学 講師 / 保健福祉博士

・事業効果

医療機関・福祉施設が中心となった地域ぐるみの防災体制構築（共助の強化）

8月に公募開始予定

【メリット】
第一人者の伴走を得られる
全国各地の取組みを知ることができる

令和 7 年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」
連携型 BCP・地域 BCP 策定に関する
モデル地域事業実施地域の募集

別紙 2

【事業趣旨】

ヘルスケア提供機関において、発災後の医療・ケアサービスの継続は大きな課題であり、いわゆる災害弱者・要配慮者への対応を含め、平時より更なる医療介護福祉連携の重要性が増す。特に、在宅医療・ケア提供の継続のためには、病院・診療所・訪問看護・介護・福祉施設を含めた地域包括ケア・地域共生社会構築の文脈での連携が重要である。したがって、自施設(機関型)の BCP のみならず、同業・類似事業所間の連携による連携型 BCP、さらには、その地域全体の医療・ケアの継続と早期復旧を目的とする地域 BCP ヘスケールアップしていく必要がある。先進的に連携型 BCP・地域 BCP 策定に取り組む地域をモデルとし、今後の全国展開に資するプロセス、使用されるツール類を創出することを事業趣旨とする。

【実施概要】

●対象地域

募集要件は、厚生労働省ホームページに掲載されている「BCP 策定の手引き」にある連携型 BCP・地域 BCP の定義を理解した上で、1)医療機関または医療系職能団体が参画又は協力していること、2)自治体が参画または協力していること、3)対象地域において、連携型 BCP、地域 BCP への取り組みに着手する関係者のコンセンサスがあること、4)今年度内に達成したい目標が明確にあり一定の成果が期待できること、の4点とする。モデル地域の選定は、厚生労働省担当課及び本事業内に設置された専門家委員会の協議で行う。

●実施内容

地域内の解決したい課題をもとに、地域 BCP の策定を支援する専門家委員会と協議のうえ、取り組み内容や成果案を決定し、専門家委員会メンバーの伴走支援を得ながら事業を実施する。モデル地域に選ばれた場合、事業実施に係る費用は参加者負担となる。

●実施期間

決定日から令和 8 年 2 月 28 日まで

【伴走支援者】

【BCP 専門家委員会委員長】

山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室
一社)コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

【専門家委員】 (五十音順)

池上 徹則 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 救急科主任部長
鎌田 徹 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 病院長
清水 政克 医療法人社団清水メディカルクリニック 理事長・副院長
古屋 聡 山梨市立牧丘病院 整形外科・訪問診療医師

【申込方法】

8 月 8 日(金)正午までに申し込みフォームに
必要事項を入力の上お申し込みください。
URL: <https://forms.gle/ZZjoRi7L2zNGbGFB7>
※複数の市町村・団体等で連携してご参加を希望される場合、代表者 1 名がお申し込みください。



<当該事業に関する問い合わせ先> 在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業
モデル地域事業事務局(コミュニティヘルス研究機構内) homecare-providers2021@healthcare-bcp.com

※本モデル地域事業は、「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」の受託者の有限責任監査法人トーマツからコミュニティヘルス研究機構が委託を受けて行うものです。
本事業の実施にあたり、有限責任監査法人トーマツからご連絡やご協力をお願いがある場合がありますが、予めご了承ください。

4. 今後の展望

金沢市 + 医療・福祉

→ (金沢市 + 医療・福祉) + 地域

→ (金沢市 + 医療・福祉 + 地域) + 企業

5. 事業収支予算

団体名:石川災害医療研修 (IDMeW) 部門:一般

収入

科 目	予 算	摘 要
金沢市委託料	300,000	
計	300,000	

支出

科 目	予 算	摘 要
謝金	80,000	講師
交通費	30,000	講師
使用料	30,000	会場使用料
委託費	90,000	ZOOM技術料(勉強会) ホームページ作成
印刷料	18,000	訓練用地図印刷 チラシ作成
通信・運搬料	7,000	郵便・宅急便
消耗品	15,000	文房具等
備品購入費	30,000	勉強会、訓練、成果発表で使用 卓上マイク ヤマハ(YAMAHA) YVC-1000用拡 張マイク YVC-MIC1000EX
計	300,000	